

## 新聖歌315番 主の御手に頼る日は

1. 主の御手に頼る日はいかに喜ばしき  
主の御手に頼る日はよにも幸いなり  
※  
たよれ たよれ とこしえの御手に  
たよれ たよれ さらば恐れあらじ
2. 主の御手に頼りつつ 進む道は楽し  
主の御手に頼りつつ 歩まば光あらん
3. 主の御手に頼る時 死も恐るべきかは  
主の御手に頼る時 平和 心にあり

### 【主はみ座におられる】

主は み座におられる 聖なるお方  
イエスの愛をうけて 贊美をささげよう  
主の 臨在の中で 大いなる勝利を  
ほふられた小羊に こころから叫ぼう  
主に ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ  
主に ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

主の 聖なる宮に 今われらは行こう  
聖徒らと共に主の み前であがめよう

### 【主イエスをほめよ】

主イエスをほめよ 主イエスをほめよ  
主イエスをほめよ その御業を  
我を罪より 救いあがない  
主イエスをほめよ その御業を

## 5

### 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って…

- ・大和カルバリー・チャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリー・チャペルと倉知牧師家族のため
- ・教会が成長しますように!
- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広げられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。



### 祈りの小径(こみち)

Number:069 瀬戸カルバリー・チャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せとの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けされました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

瀬戸カルバリー・チャペル Seto LIFE ART Studio  
489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com

## 2

## 今日の聖書のことば ゆっくり読んで黙想しましょう。

創世記17章1~8節

1 アブラムの九十九歳の時、主はアブラムに現れて言られた、「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に歩み、全き者であれ。2 わたしはあなたと契約を結び、大いにあなたの子孫を増すであろう」。3 アブラムは、ひれ伏した。神はまた彼に言られた、4「わたしはあなたと契約を結ぶ。あなたは多くの国民の父となるであろう。5 あなたの名は、もはやアブラムとは言われず、あなたの名はアブラハムと呼ばれるであろう。わたしはあなたを多くの国民の父とするからである。6 わたしはあなたに多くの子孫を得させ、国々の民をあなたから起そう。また、王たちもあなたから出るであろう。7 わたしはあなた及び後の代々の子孫と契約を立てて、永遠の契約とし、あなたと後の子孫との神となるであろう。8 わたしはあなたと後の子孫とにあなたの宿っているこの地、すなわちカナンの全地を永久の所有として与える。そしてわたしは彼らの神となるであろう」。

ローマ人への手紙4章17~22節

17「わたしは、あなたを立てて多くの国民の父とした」と書いてあるとおりである。彼はこの神、すなわち、死人を生かし、無から有を呼び出される神を信じたのである。18 彼は望み得ないのに、なおも望みつつ信じた。そのために、「あなたの子孫はこうなるであろう」と言われているとおり、多くの国民の父となつたのである。19 すなわち、およそ百歳となつて、彼自身のからだが死んだ状態であり、また、サラの胎が不妊であるのを認めながらも、なお彼の信仰は弱らなかった。20 彼は、神の約束を不信仰のゆえに疑うようなことはせず、かえって信仰によって強められ、栄光を神に帰し、21 神はその約束されたことを、また成就することができると確信した。22 だから、彼は義と認められたのである。

## 3

## 默想(Life Art Meditation)の時間 (感じたこと・恵まれたことをノートします)

## 4

## みことばの解説

あなたの栄光を示してください！

Show us Your Glory ! 出エジプト33の18



創世記17章2・4節にある「わたしはあなたと契約を結ぶ」という言葉から、私の名前「契」は命名されました。私にとって「原点回帰」のみ言葉のひとつです。

神様は、アブラハムを75歳の時に召したして「約束の地」に出発するように導かれました。子どもがいなかったアブラハムは86歳のときに、つかえめハガルをとおしてイシマエルを授かります。そのことは、神の恵みの中で許された、アブラハムの失敗であり、家庭内に大きな不和をもたらせました。妻サラも、ハガルも、そしてその子供も大きな痛みと試練を通り、その現実を目の当たりにしたアブラハムはどれほど苦悩したでしょう。それから13年。すなわちアブラハム(アブラム)が99歳、サラ(サライ)が89歳。時を支配する神様は、「望み」がまったくない現実的状況にふたりを追い込まれた末、「約束の実現」を果たすために「現われ」のです(17章1節)。

創世記17章は(15章と合わせて)「アブラハム契約」と呼ばれる聖書神学的に非常に重要な内容です。これは7節にあるように「永遠の契約」であり、ダビデと結んだ永遠の契約(2サムエル7章)と共に、イエス様がもたらせた「新しい契約」に直結する「ちぎり(契り)」です。ですから、信じる私たちにも当てはめることのできる約束です！

神様はご自身をどのように顕されたのでしょうか。

- ① 全能の神(エル・シャダイ) =乳房(母)
- ② 完全に信頼できる御方  
=私の前に歩み、全き者であれ (nothing between)
- ③ 神様ご自身が契約を結ばれた
- ④ アブラムを「アブラハム」と呼ぶ→父としての神
- ⑤ 彼を「多くの国民の父」とする約束
- ⑥ 世々の子孫の神となると祝福の継承を約束
- ⑦ 所有地の分与を約束